

a～cは情報セキュリティ事故の説明である。a～cに直接関連する情報セキュリティの三大要素の組合せとして、適切なものはどれか。

- a 営業情報の検索システムが停止し、目的とする情報にアクセスすることができなかった。
- b 重要な顧客情報が、競合他社へ漏れた。
- c 新製品の設計情報が、改ざんされていた。

	a	b	c
ア	可用性	完全性	機密性
イ	可用性	機密性	完全性
ウ	完全性	可用性	機密性
エ	完全性	機密性	可用性

解答編 p178 へ

ファイルサーバについて、情報セキュリティにおける“可用性”を高めるための管理策として、適切なものはどれか。

- ア ストレージを二重化し、耐障害性を向上させる。
- イ デジタル証明書を利用し、利用者の本人確認を可能にする。
- ウ ファイルを暗号化し、情報漏えいを防ぐ。
- エ フォルダにアクセス権を設定し、部外者の不正アクセスを防止する。

解答編 p178 へ

JIS Q 27000:2014(情報セキュリティマネジメントシステム—用語)における真正性及び信頼性に対する定義a～dの組みのうち、適切なものはどれか。

〔定義〕

- a 意図する行動と結果が一貫しているという特性
- b エンティティは、それが主張するとおりのものであるという特性
- c 許可されたエンティティが要求したときに、アクセス及び使用が可能であるという特性
- d 許可されていない個人、エンティティ又はプロセスに対して、情報を使用させず、また、開示しないという特性

	真正性	信頼性
ア	a	c
イ	b	a
ウ	b	d
エ	d	a

解答編 p178 へ

JIS Q 27000:2014(情報セキュリティマネジメントシステム—用語)において定義されている情報セキュリティの特性に関する記述のうち、否認防止の特性に関する記述はどれか。

- ア ある利用者があるシステムを利用したという事実が証明可能である。
- イ 許可された利用者が要求したときにアクセスが可能である。
- ウ 許可された利用者に対してだけ、情報を使用させる又は開示する。
- エ 利用者の行動と意図した結果とが一貫性をもつ。

解答編 p178 へ